



No. 79

発行人 神山 裕也  
発行所・事務局社団法人千葉県社会福祉士会  
〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3  
千葉県社会福祉センター4階  
TEL043-238-2866  
FAX043-238-2867  
<http://www.cswchiba.com/>  
E-mail: [office@cswhiba.com](mailto:office@cswhiba.com)  
※ 点と線はメール配信でも読めます!

# 新体制始動

特集 新体制始動!	1
会長挨拶	2
新任理事に聞くあなたが思う社会福祉士とは	3
TOPICS「児童を支えるソーシャルワーク ～教育研究所の社会福祉士～」	5
東日本大震災から学ぶ	6
わたしの一推し	7
社会福祉士の輪	8
三団体リレーコラム	9
地域集会つながるネットワーク	10
御悩み処 一休	11
事務局だより	12

# 会長挨拶

会長 神山裕也

この原稿を書くにあたり、二年前の点と線を手にとっています。二年前の自分はどんなことを書いていたか思い出すことができずにおりました。大したことを書いていないのは覚えていたのですが、具体的にどんなことを考えていたのかを知るために、ホームページから当時の点と線を引つ張り出しました。同時に、この二年間に起きた出来事を一枚の紙に整理してみました。二年間ですから手帳を見返しさえすれば、その当時の記憶はまだ鮮明に蘇る時期です。二年間に起きたことを再確認した上で二年前の自分の記事をひと通り読み、本当に薄っぺらい内容に苦笑しながらキーボードを叩いています。「記事を書いた二年前の自分へ、伝えたいことが山のようにあるのです」。

この二年間は、千葉県社会福祉士会にとって難しい局面の連続であったように感じています。日本社会福祉士の連合体移行、生涯研修制度の改正への対応、新公益法人制度

改革への対応、そして、東日本大震災への対応など、その都度理事会でも様々な意見が出されましたし、判断を迫られる局面も多くありました。その全てにおいてベストを尽くしてきた自負はありますが、正解だったかは正直自信のないものもあります。また、会長としてのリーダーシップの欠如や、自らの力不足を痛感するような出来事も沢山ありました。「果たしてこのポジションにすることが会にとってプラスなのか」考えることも少なくなかったと思います。その度に多くの人に支えられ助けられ、この二年間勤めあげることができたと感謝しているところです。

平成二十四年六月から私は二期目の会長職を仰せつかることになりました。主として会の運営については財政的安定を目指していくことと並行して、安心した法人運営を実現することに努めます。また、生涯研修制度改正に伴う強固な研修実施体制の構築や地域集会の充実などを通じて、会員が「自らのキャリア形成と人的ネットワーク形成」をする上での中心的役割を果たせるような体制を目指すほか、ぱあとなあ千葉での専門職後見人の支援等に代表されるような「広く県民の福祉の増進に寄与するための仕組

み」にも引き続き取り組む所存です。会員のための組織であると同時に、県民のための組織であることを意識し、将来的な公益法人移行を視野に入れた取り組みを推進して参ります。

細かいことを言えば、解決したほうがいいことは多くありますし、解決までに至らなくても道筋を付けなければならぬものも多くあります。千葉県社会福祉士会にとつては引き続き、難しい舵取りを求められる局面がやってくるのが予想されます。しかしながらこれまでと同様に、多くの方々の協力をいただきながら、一月には二十年目を迎えるこの会の舵取りをさせていたたく所存です。

ここから二年間、前の任期であったような想像もつかないことが起こるかもしれません。精一杯努めさせていただきます。よろしくお付き合いください。よろしくお願いいたします。

平成二十四年度 千葉県社会福祉士会新理事体制	神山裕也
会長	神山裕也
副会長	染野 貴寛
事務局次長	出口 紀子
事務局次長	岡本 崇弘
事務局次長	櫻井 絢子
委員会担当理事	
総務委員会	櫻井 絢子
総合相談委員会	鈴木 将人
研修啓発委員会	周藤 秀俊
外部評価委員会	小樽 清
ばあとなあ千葉	浅野 貴寛
ばあとなあ千葉	浅見 雅人
ばあとなあ千葉	齋藤 江美子
ばあとなあ千葉	小樽 清
ばあとなあ千葉	櫻井 勉
ばあとなあ千葉	吉田 愛子
ばあとなあ千葉	出口 紀子
独立型社会福祉士委員会	大浦 明美
独立型社会福祉士委員会	出口 紀子
独立型社会福祉士委員会	鈴木 将人
災害対策委員会	鈴木 将人

# 特集

## 新任理事に聞く あなたが思う社会福祉士とは

【神山裕也会長】

「私は困っている人がいたら、その人のところに行つてとことん寄り添つて支援するタイプの専門職です」というアイデンティティの表明だと思つていきます。この資格を持つて仕事をするということは、社会に対してこのアイデンティティを約束することであり、その能力を保証することだと感じていきます。



【染野貴寛副会長】

「かっこいい職業です」 スーパーでもスーパーマンでもない、昔はぜったいなれると思ひ込んでいたヒーローでもない、万人が知っているかっこいい制服があったり、子ども達が真似をするようなポーズがあったりもしない。けれども、いろいろな事が絡まってくるでしょうかと立ち止まっている人と並走したり、後ろから押ししたり、人を集めたりして絡まった糸が解け始め、

その瞬間に力が湧いて歩き出せる。これはとってもかっこいい。。。

これから生まれてくる多くの子ども達が憧れる職業になるには、社会福祉士会が必要です。



【出口紀子副会長】

社会福祉士とは、高い倫理観と専門的知識を持つて福祉的援助を必要とする方々の生活を守り権利を擁護することと学習してきました。

今、社会福祉の必要性が言われ重要とされています。私たち社会福祉士は何をすべきかまさにこれからの活動が問われるところです。

社会福祉士がどんな仕事をするのか、まだ全般に知られているわけではありません。本当に必要な方が福祉サービスを受けられているとはいえません。

皆さんに、社会福祉士とは何が出るのか、どんなときに援助してくれるのか、自分たちはなにを望んで

いるのか、明確にして社会全体の仕組みや生活をよりよい方向へ進めていく専門職といえる。そのような活動をやっていきたいと思つています。千葉県民の皆さまに、納得していただけるような活動を目指したいと思つています。



【岡本崇弘事務局長】

「つなぐ・ささえる・まもる」

大学を卒業し、正直に白状すれば良くわからないまま入会。二〇〇二年に千葉で開催された日本社会福祉士の全国大会。その大会のキャッチフレーズが、この「つなぐ・ささえる・まもる」。

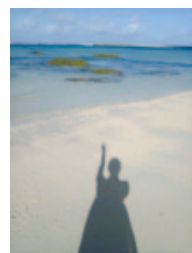
周囲に相談できる専門職もなく、自分が何を指すべきなのかも理解していないまま一ヶ月で体重を三kg減らしていた頃。この言葉を目にしたとき、ようやく自分の立ち位置が見えた気がしたのを憶えています。今でも名刺に刷っているこのフレーズが、私にとつての社会福祉士。



【桜井絢子事務局長】

私が思う「社会福祉士」とは・・・他の専門職と何か違うかといえば、同じなのかもしれませんが、「熱意をもって冷静に振る舞え、いつでも仲間を集められるひと」であると思つています。

ちよつと視点を変えて、栄養素のような配合率を考えてみました。 気力・体力 六八%、知恵・経験 二三%、勘 八%、勇気 一%・・・経験や勘のみに頼らない、知恵のある社会福祉士でありたいと思つています。



【鈴木将人理事】

人がそれぞれ思うままに好き勝手に生きようとすると、社会の規範や他人の幸せとぶつかつてしまします。社会福祉士は、支援を求めている方が「こう生きたい!」と思つている方に「こう生きたい!」と思つている方に寄り添いつつ、その生き方が「社会で生きていく」こととぶつかつてしまった時に、折り合いをつけていく役割を担っています。その大役を果たすためにネットワークと笑顔を携えて、相談者の心に入っていく技術が必要です。嗚呼、日々是稽古也、です。



【周藤秀俊理事】

社会福祉士は「お人よし」。ここで顔をしかめたあなた。あ・な・た。「お人よし」という言葉で苦い思い出があるんじゃないですか？やっぱりはい。私も根っからの「お人よし」です。でも、「お人よし」って悪い言葉ではないと思うんです。知り合いの社会福祉士さんの顔を思い浮かべると、ほら、あの人も、その人も、みんな優しいような笑顔の「お人よし」親しみやすいんです。頼みやすいんです。だから身近なんです。ね。私にとつての「社会福祉士」。



【小樽清理事】

社会福祉士という言葉は、ようやく緒についた感があるが、一般にはあまり知られておりません。今後の社会福祉士の存在価値を高めるために、名称独占ではなく業務独占が必要不可欠であり、資格を得ることによって、業務の優越性が確保されなければ魅力に欠け、資格を生かし就職しても、何でも屋である。社会福祉士の法の目的に沿い、質の向上と業務の独占を、会員と一緒に

になって推進したい。

【浅見雅人理事】

社会福祉士は自分の長年の経験のみで業務を行うものでなく「バイステック七つの原則」や「倫理綱領」に照らし合わせ、日々自己研鑽しながら学んだ知識をうまく活用していきける者である。それに、利用者や家族の心情を、表面だけでなくその場の状況を判断するのではなく、なぜ今この発言や言動があったのか、一つ一つ注視していく観察力や傾聴能力を備えた専門家であると思います。



【齋藤江美子理事】

人は誰しもが人間としての尊敬を有しており、人権が尊重されなければなりません。今から五年前、朝日訴訟の第一回判決で「憲法二五条は絵に書いた餅ではない」。「健康で文化的な生活とは・・・人間に値する生存あるいは人間としての生活」と言い得るも



のようになってはならない」といっています。社会福祉士は「生きづらさ」をとにも歩み、ともに取り組み人権を守る仕事です

【櫻井勉理事】

①「ウェルビーイングと変革とエンパワーメントを目指す」人②利用者のために「チームワークとネットワーク」で仕事をする人③「社会福祉士の倫理綱領と行動規範」を守ってさえいれば、「名称独占」だからこそ、ニードに対応して、「何でもやれる！何でもあり！何にでもくつつく！何でもくつつける！」という、無限の可能性を秘めた仕事が出来る資格を持つている存在④「クールヘッドとウォームハート」で常に活動することが求められる人



【吉田愛子理事】

法に基づいた国家資格。「身体的・精神的な障害などのため日常生活に支障がある人に関する相談に応じ援助を行う」とあるが、時代やその社会



背景で相談援助の中身が変わると思う。相談者を、「身体的・精神的な障害」に限定することなく広くとらえ、低所得・生活保護・高齢者・ホームレス・孤立・自殺(死)・刑余者(累犯障害者)・DV・アルコール依存者・虐待等の養護者・被災者等々への支援。その際、ネットワークを活用し支援する。



【大浦明美理事】

独立型社会福祉士は、「地域を基盤として独立した立場でソーシャルワークを実践する者である」と定義され、職業倫理と十分な研修と経験を通して培われた高い専門性に基づき、利用者と締結した契約に従って提供する相談援助の内容及び、その質に対し責任を負うとされています。現状において、これらを担保するため、私の身近な独立型社会福祉士は、常に自分の仕事に対する研究と人間としての修養を怠らず、パワフルに活動しています。



## TOPICS 児童を支えるソーシャルワーク 〜教育研究所の社会福祉士〜

広報部会 岩間太一 山口利史

今回、我孫子市教育委員会教育研究所で児童を支えるソーシャルワーカーとして働く社会福祉士 並木明子さんを訪ね、教育研究所について取材をさせていただいた。

職員の配置は、所長（教職）、所長補佐（心理職）、指導主事（教職）二人、ケースワーカー（社会福祉士）一人、相談員（心理職）五人、適応指導教室指導員三人、学校に勤務する心の教室相談員十五人、学級支援員七二人となる。

### ○どんなことをしているのか

主な事業は二つ。一つ目は、アドバイザー事業として、学校から対応に困ったケースなどの相談を受けている。昨年度は約百六十回、学校にアドバイザーを派遣し、相談に応じた。

二つ目は、発達障害相談事業とし

て、本人や家族からの相談に対応している。昨年度は、新規相談が約百十件、継続相談が約百四十件あり、内約百件は支援の調整がつき終結。近年、新規相談件数は増加する傾向にある。

### ○どんな相談が入るのか

本人や親からは、学校で配布したチラシやホームページを見たり、市役所や担任の先生などから相談窓口として紹介されたりして相談が入る。

内容は、子どもが学校でなじめない、登校渋りや不登校になった、発達障害に関する心配など様々。学校からは、教室内でトラブルが多い子どもや、家庭内の問題を心配した相談などもある。

### ○相談対応の流れ

- 1 学校や本人、家族などから相談が入る。
- 2 ケースワーカーによるインテ

ーク

3 ケースワーカーはカンファレンスをコーディネート。そこで、所内の方針を決める。

4 教育研究所の支援

①心理発達等に長けた相談員による検査やプレイセラピー↓必要に応じて学校や適応指導教室へ繋ぐ

②心理相談員や指導主事による教員へのフォロー

③経済的な問題、虐待などがあり、子どもだけでなく家族へのアプローチが必要な場合、ケースワーカーによる調整

5 モニタリングにより、家庭や学校内での支援体制で対応できる状況になったと判断した場合終結とする。

### ○社会福祉士の役割

ケースワーカーとして社会福祉士が設置されてから六年目となる。教職員、心理系の相談員と一緒に業務を行う中で、社会福祉士としての存在意義は、正直模索しているところだ。

指導主事の学校へのパイプは強

い。学校外の人間が介入することは難しさもあるが、教職員である指導主事は、学校の事情を理解しているという点で共通基盤がある。

心理職は、相談者や学校から心理的な対応を求められることが多いのだが、本人の課題解決に向けてアプローチを図れる。

### ○社会福祉士の強みは何か？

今まで抱えたケースには、虐待や経済的問題を抱えているようなソーシャルワーク的なアプローチで掘り下げることで改善に向かうケースもある。

それらを整理して、学校関係者に伝えていくことで、社会福祉士の役割が見えてくるのではないかと考えている。



並木明子さん

# 東日本大震災 から学ぶ

さざんか園 五十嵐 伸光

「東日本大震災から学ぶ」

昨年三月の大震災から早一年三ヶ月が経ちました。私が住んでいる海匝地区では、旭市での津波と液状化による被害が一番大きく、被害状況は、人的被害として、死亡二三名、行方不明二名、重症者二名です。住宅被害として、全壊三三四件、大規模半壊四二六件、半壊四九七件、一部損壊二二七二件でした。社会福祉士の皆さんには、人的、物的、金銭的支援等迅速にいろいろな支援を戴きこの場を借りて感謝申し上げます。

まず始めに現在の旭市の状況について報告させて戴きます。がれきについては概ね撤去されていますが、再建とまではいかず多くの場所が空き地の状態で、海岸線から一本内側の道でも海が見える所が多く見受けられます。液状化に伴う被害

については、概ねライフラインは回復しましたが、一部路面が波打っている道路も見受けられます。仮設住宅は二か所あり、およそ一六〇世帯四二〇人の方が入居されています。

次にこれまでの動きです。最初に旭市ですが、災害対策本部の設置(総務課が統括)、避難所の設置(日赤、看護協会等協力)、初動時は市内一か所約二千人が避難、三月四日には四か所に集約(七〇〇人)、最終的に残った方が約二〇〇人で五月二一日仮設住宅へ、また、義援物資の受付・配布をおこないました。次に旭市社会福祉協議会です。旭市災害ボランティアセンターを設置(三月一四日県社協・NPO法人千葉レスキューバイク・海匝ネットワークで打ち合わせ、翌一五日インターネット等で広報、一六日〜三一日設置)、依頼件数は五七〇件、活動件数七三二件、ボランティア数述べ七六〇八人です。そして中核地域生活支援センター海匝ネットワークでは、初動三日間安否確認者に電話や訪問により安否確認、障害者グル

ープホームを巡回、三月一五日から「海匝のふくし」にて飲料水・ポリタンクの支援を呼びかけ、避難所や給水ポイントにアクセスの悪い方へ個別配布、三月一六日から「旭市災害ボランティアセンター」への協力、現在は仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業を受託し、仮設住宅で生活されている方への支援を行っています。国保旭中央病院では、

先券の発行へ)しました。当法人としては、旭市の施設に備蓄飲料水を三〇ケース程配送、神栖市の施設に軽トラと五〇〇リットルタンクを貸出しました。この他介護支援専門員は担当ケースの安否確認、介護保険施設では、一時避難所として施設を開放したり、急きよ入所者を受け入れたり、短期入所の枠を外して入所受入れしたりしています。

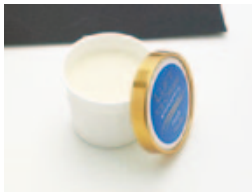
「こころのケアチーム」を立ち上げ、神経精神科の医師・臨床心理士及び県精神保健福祉センターや海匝健康福祉センターの精神保健福祉士・保健師等で避難所を定期巡回し、ハイリスク者のピックアップ、処方箋発行、処方薬の届けまで一貫した対応をしてきました。千葉県高齢者福祉施設協会関係では、八千代市の施設からココロラ(株)から寄付された清涼飲料二〇〇箱を香取海匝地区で水道が止まっている施設等に配布、また、会長から千葉県に対しガソリンの供給について優先していただけるよう要請(県から石油組合に要請され、結果福祉車両の優

私自身が知っている支援を列挙してみました。どうでしょう本当に沢山の専門職が関わっていることに気が付くと思います。そしてこのなかには私が普段から親交の深い多くの社会福祉士や専門職の間が関わっていました。改めて震災支援について振り返ってみると、まず自分の置かれた環境の中で最大限できることをしていくことの大切さ、そして普段のネットワークを通じお互いに連携を取っていくこととお互いの活動を尊重していくことの大切さを学びました。現在多くの地域で防災のネットワークづくりが動き始めています。私達社会

福祉士が持っているネットワークを最大限生かし、専門職をコーディネートする中心的役割を担うことができます。そんな社会福祉士の仲間が増えることを願っています。

## わたしのいち推し

暑いこの季節にはピッタリの、オリーブハウスのアイスクリームです。濃厚な牛乳による独特のコクのあるおいしさですので、まだの方はぜひ一度ご賞味のほどいかがでしょうか。自治体の広報誌に紹介されるなど、高い評価でファンも多いです。記事中のショップだけでなく、千葉市を中心に県内の各種イベント等などにも出店されていますので、その際などでもぜひ！



紹介者：君和田豊さん

オリーブハウスのアイスクリームが購入できる場所ですが、千葉市にある市民会館内の“秋桜”という飲食店内、花見川区横戸町にあるオリーブハウスのショップ“そよ風”、その他、ギフトセットでの販売などもしております。

また、週末などには様々な場所でも販売もしていますが、千葉市での販売が中心です。

こだわりのポイントですが、使用している牛乳と生クリームは全て千葉県八千代市産のものを使用しています。

菜の花の丘のバニラは南房総産の菜の花からとれたはちみつを使用、ピーナッツアイスは千葉県産のピーナッツペーストを使用しています。

できる限り地産地消を目指しています。



お問合せはオリーブハウス アイスクリーム班担当  
電話(043-216-8211：平日の9時～17時。土日はお休み)

## 社会福祉士の輪



みなさまこんにちは。市川駅前で行政書士事務所を開いている市澤です。社会福祉士として三年目になり、ぱあとなあに所属し成年後見を、行政書士としては個人の権利・義務に関する相談・書面作成を細々とやっています。

私が『社会福祉士』を知ったのは二〇〇六年、第一回東京都社会貢献型後見人養成講習に池田恵利子さんが講師としてお越しくださった時のことでした。それより以前、成年後見制度開始の記事を読み「やってみよう」と思ったことはあったのですが、当時は、福島県の父の遠距離介護、青森県の義母の見守りや入

院付添、京都へドイツへと単身赴任をする夫の家事や世話で飛び回る毎日。朝、目が覚めると一瞬自分がどこにいるのかわからないような日々でした。そんな中、いつしか成年後見人をやりたいという想いも忘れ去っていました。

そんな生活がようやく落ち着いたら頃、たまたま目にした東京都の市民後見人への誘いは、抗いがたく私を引きつけ突き動かしました。講習は池田さんをはじめ充実したものでしたが、しかし当時まだ黎明期（れいめいき）だった市民後見人は残念ながら、すぐに受任可能な環境ではないと悟りました。「それならいつそ『社会福祉士』にチャレンジしよう、成年後見受任への道が開けるに違いない…」。

二〇〇七年日本社会事業大の通信養成課程に入学、実習先を探すとになりしました。この際、私にとつては謎(?)であった社会福祉協議会に照準を定めることに。多くの市町村社協に電話をしましたが、ことごとく玉砕。おぼろげと社福士会事

務局に出向き「どこかやらせてくれるところ、ないでしょうかねえ」と相談をしました（ぱあとなあへの準登録員になっていました）。その時、たまたま事務局に居合わせた方が、「僕と一緒にやってあげるから、直接頼んでみたら」と声をかけてくれ、日を改め、見ず知らずの私のために、わざわざ2か所の社協へ同行し、口添えをしてくださったのです。

この方が千葉県社会福祉士会の初代会長をとめ上げたSさんでした。成年後見ありきであった私に、さりげなく示唆に富む話もしてくださり、福祉の世界の入り口で、社会福祉士像の原点を私なりに学べた、あたたかで幸運な出会いでした。

振り返ってみれば、立川・新宿の社福士勉強会、ぱあとなあへの成年後見研修を一緒に受けた仲間達、定例研修会等々、求めたところにはいつも出会いがあり、多くの支援やサジェスチョンを受けてきました。受験の資格要件のなかった行政書士資格を一年早く取りましたので行政書士事務所を名乗っていますが、こ

れとて活躍中のDさんとの出会いがあったからこそでした。

今いくつか後見を受任できるようになって、福祉の分野では知らないことばかりと痛感し、勉強する場を求めて船橋市で成年後見事例研究会をはじめました。成年後見事案ではルーティン業務以外にも、解決しなければならぬ問題が不断に生起しますが、個人に付属する種々（しゅじゅ）の条件や特性から、問題は常に個別的なものです。広い視野を持ち、多くの場面に対応できるような洞察力と思考選択能力を身につけたい。そして福祉のプロ集団から学び、気心の知れた仲間同士、時には助け合えるようなネットワークを築いていけたらと願っています。

### お悔やみ

当会発足に多大なるご尽力をいただいた藤城恒昭氏が去る六月十八日に逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。



## 三団体リレーコラム

点と線でも合同リレーコラムを掲載してきた「千葉県ソーシャルワーカー三団体協議会」ですが、各会バトンを一週し、再び社会福祉士会へ戻ってまいりました。この場をお借りして、昨年度の活動内容を報告させていただきます。恒例となった年一回の合同研修開催のほか、昨年度は新たな企画にも挑戦いたしました。

### “福祉のしくみ 就職フェア”への参加

千葉県社会福祉協議会主催の就職フェアにおいて『ソーシャルワーカーの一週間』と銘打つセミナーを行いました。福祉の仕事を目指す学生向けに、現役ソーシャルワーカーが日ごろの業務・思い・やりがい、はたまた失敗談などをざっくばらんに語るというものです。

病院・施設・行政など、職種は違えどソーシャルワーカーとしての価値観・共通点を改めて発見できる

セミナーでした。「ソーシャルワーカーって何をしているの？」という素朴な疑問を解決できたと、参加者からも好評をいただきました。開催時期もソーシャルワーカーデーにちなんだ七月ということもあり、ソーシャルワーカーという職業を広める良い機会になったと考えております。

### 恒例！合同研修会

また、十一月には『無縁社会』をテーマとして、NHK放送総局首都圏放送センター 特報首都圏チーフプロデューサー板垣淑子氏を迎えての講演会及びグループワークを開催し、多くの方がご参加くださいました。取材を通して見聞きした現場の声を講演いただき、参加者みな今一度、自分自身にできることは何かを見つめ直すことのできた研修会でありました。

### 平成二四年七月二日（土） ソーシャルワーカーデー特別企画 実践報告シンポジウム

さて、今年度の合同研修会はソーシャルワーカーデーにあわせ、パワーアップして開催いたします。大きなテーマは例年通り“「地域で生きる」を支援する「無縁とたたかう」ソーシャルワーカー」として、昨年の研修テーマ『無縁社会』をさらに深める内容を予定しています。

前半のシンポジウムでは、無縁社会や孤立に立ち向かっているソーシャルワーカーの生の声、支援の実践報告を予定しており、一般の方にも公開することで、私たちの仕事・活動の重要性を広められることとします。後半の研修では、シンポジストの方にも残っていただき、専門職としてのスキルを向上できるような内容を考えています。

これらの活動は主に三団体各会のメンバーで構成されたワーキングチームで準備を行っています。夜な夜な集まり意見交換、アイデア

を出し合い、形にしていこうという作業は大変ではありますが、一つの研修が無事に終わった後の充実感は何事にも代えられないものです。

ソーシャルワーカーとして職種の枠を超え、これからも三団体が協力し合い、実りある活動を行っていきます。少しでも興味のある方、他職種のネットワークを広げたいと考えている方、私たちと一緒に活動してみませんか？きつと新しい発見があるはずです！

そして、七月二日のシンポジウムにも多くの方のご参加をお待ちしていますので、よろしくお願いいたします！！

# 地域集会

つながるネットワーク

子山 孫流区  
我田地  
柏野

県内各地区の地域集会の様子を報告するこのコーナーですが、今回は「番外編」として、柏・我孫子・野田・流山地区で定期的に開催されている『福祉道場』についての報告を「寄稿」いただきました。

## 「嗚呼、日々是稽古也」

『福祉道場』世話人 鈴木将人

## 『福祉道場』設立の経緯

柏・我孫子・野田・流山地区では、二〇〇九年度まで毎年一回ホテルの宴会会場、公民館のホール等を借りて、地域集会を開催してきました。勉強会と懇親会の二部制で、会員に限らずネットワーク構築の場として活用していただけたよう、地区の福祉の現場で働く専門職や社会福祉士を目指す学生にも参加いただき、一〇〇名を超える参加者が一堂に会したこともあり、ました。

参加する人数が増えることは喜ばしいのですが、どうしてもその場の名刺交換でやり取りが終わってしまう方もいて、結局再会は一年後の地域集会で、ということもありました。そこで、地域集会で出会った人間関係をよ

り深化させる仕掛けとして、二〇〇七年五月から隔月開催で定期的な勉強会スタイルの集会をスタートしました。それが『福祉道場』です。

## 「勉強会」から『福祉道場』へ

立ち上げるにあたり、我々の目指す勉強会のスタイルから考えました。著名な講師を呼んで知識や技術を教える勉強会ではなく、まずは地元の現場で働く福祉職人を招いて、自身の仕事のこと、仕事に対する思いを話してもらう。参加者はその話を受け止め自分の知識、活力にする。招かれた福祉職人も参加者からの質問、意見、感想を受け止め今後活かしてもらおう。

このスタイルを考え出した時、勉強会の名前も大事にしたいと考えました。話す側、聞く側の福祉職人達が互いに受け止め合い成長する：『道場』のように福祉職人が鍛えあえる勉強の場：『福祉道場』。

こうして、立ち上げようとした「勉強会」が『福祉道場』という名となり、今では多くの参加者から『道場』と呼ばれ愛着を持ってもらっているように感じております。

この原稿のタイトル『嗚呼、日々是稽古也』というのは、『福祉道場』のブログのタイトルでもあり、福祉道場の理念でもある「すべての経験は糧になる」という思いから、日常の全てを稽古として捉えようと思ひ、つけたものです。

## 『福祉道場』の内容

一、道場設立当初は、現場の比較的

経験年数の少ない福祉職人と、地域の福祉基盤を築いてきたベテランの福祉職人の二人を話し手とし、一人ずつそれぞれ四〇分程度「福祉」をテーマとして、自身の仕事や想いについて自由に話してもらい、車座で囲んでいる参加者からの質疑応答を受けるスタイルで進行していました。

このスタイルは、今も『福祉道場』の基幹的なスタイルとして定着していますが、設立から五年を超え、新たな企画も増えてきました。

お昼の番組に着想を得た、一人の福祉職人が話を聞いてみたい相手を目指し、インタビュー形式で会話を広げていく『道場・テレホンショッキング』や、当日会場が無作為に選ばれた参加者が、サイコロを振って出た目に書かれたお題（福祉職人を目指したきっかけ）や「これからの夢」など）について三分ほど即興で話す『ごきげん道場』などはシリーズとして続いています。

また、経験が長くなるほど同僚等に聞けなくなる「今さらだけど聞いてみたい質問」を出し合い答え合う企画や、一つの事例に対してどのようなアプローチが取れるかをフリップで答える『大喜利道場』など、実験的な企画も随時導入されています。昨年夏には『東北復興支援暑気払い』として、東北のお酒を置いているお店で懇親会も開きました。

## 『福祉道場』ハンドタオル募金

福祉道場の稽古も三〇回を迎え、い

ただいている資料代の中で印刷費のおつりが蓄積されました。それを東日本大震災の被災地支援に活かす良い方法がないか話し合い、その予算で『福祉道場ハンドタオル』を一〇〇枚作成しました。被災地支援の募金活動を行い、五〇〇円以上募金してくれた方にはハンドタオルを差し上げていきます。デザインも好評です。熱い議論に汗を流す時には、ぜひ道場ハンドタオルを忘れずに！！

## 『福祉道場』継続の秘訣

道場の稽古には、毎回約二〇〜三〇人が参加されます。毎回必ずと言っていいほど、新しく参加される方がいらつしやいます。一度参加された方が、お仕事の都合などでしばらく来られなくても、また余裕が出て参加されるようになる、ということもあります。誰にでも門が開いていること、誰のこともしぼりつけないこと、が長く続く秘訣だと思ひます。道場を通じて出会った仲間も既に二〇〇人を超えました。

「仕事で出会った関係機関の職員と福祉道場の話で盛り上がったよ」なんて言葉ももらえると、続けて来てよかったと思ひます。

## 『福祉道場』のこれから

参加者へのアンケートでも「自分の実践を振り返るきっかけになった」「初心に立ち返ることができた」などの感想が寄せられています。参加者の声に触れるたびに思うのは、現場で働く福祉職人達は、日々不安や反省の中



でつながりやコミュニケーションを求めているのだ、ということ。新しい制度についての勉強会ももちろん必要ですが、違う職場・職種であっても同じ福祉のフィールドにいる仲間たちが何を思い、どんな努力をしているかを知ることが、自身をエンパワメントするのだと実感します。

今後も『福祉道場』が福祉職人達の拠り所となると同時に、情報の交差点として現場の福祉職人達の架け橋になるよう、さらなる発展に向け努力していきます。

### 御なやみ処 一休

Aさん 二〇代 男性

『地域包括支援センターで働き始めて半年になります。・。・。介護職をしていた時と比べて、何をすべきかがはっきりしていないので、毎日分からないことばかりです。相手の希望に添うよう対応したことが、業務としてすべきではないと先輩に言われ、余計何をすべきか分からなくなり、どんな何もうまくできなくなっていく自分を感じています。また、もともと人と話すことが苦手なうえに、電話に出るときには、職場のみんなに聴かれないような気がして、失敗しないようにと思って緊張してしまい、声が小さくきちんとした対応ができなくなることもあります。どうすればこの負の螺旋階段を抜けることができるのでしょうか?』

### 先輩社会福祉士からのアドバイス

Aさんへ

流山市東部地域包括支援センター  
社会福祉士 古澤肇

地域包括支援センターの業務は、守備範囲が広く、求められるモノが高専門職チームと認識しています。いわゆる高齢者福祉と地域福祉の即戦力がベースにありますので現状の大変さは、察します。

私は、福祉の仕事は一六年目、包括では五年目の三八歳ですが、最初の頃はAさんと同じような悩みを持ったものです。

さて、相談である対人援助技術の習得、電話対応のスキル、仕事の創造性等についてですが、今回は人間的成長にもスポットをあて、『六人のつながり』の話を紹介します。働き方で悩んでいた二五歳の私に対する、大先輩からのアドバイスをアレンジしています。

職場の中での信頼・相談できる、または尊敬や目標とする方

①年上・上司 ②同僚・同期 ③年下  
また、職場から離れて相談できる、尊敬や目標とする方

④年上・先輩 ⑤同年代 ⑥年下  
この六人があなたには存在しますか?

意識的に付き合ってみたり、関係を築く努力をしてみる。

例えば、それぞれの方に会いに行き、今回の悩みを思いきって話してみたいかがでしょうか?

どんな反応や自身の気づきがあるか?

厳しい意見があるかもしれませんが、あえて指摘してくれる人に耳を傾ける事が自身を高めるきっかけにもなります。

いわゆる身の程を知る機会にもなるでしょう。また、素晴らしい出会いやヒントもあるはずですよ。

六人とのつながりが深まれば、徐々に『この人ならこのような時には、こう答えてくれるな』というところが少しずつわかってくることでしょう。

福祉は人なり。人間力を高めるためにスキルや知識の向上は、もちろん前提です。その上でコミュニケーション能力を高め、豊かな感性を磨き『自分の働き方』を育てていきましょうか?

どうぞ社会福祉士会のネットワークも活用してみてください。何か動きはじめ、きつとより良くなります。

**事務局便り**

夏空がまぶしく感じられるころとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。  
 さて、代議員制導入後はじめての総会を平成24年5月26日（土）に開催いたしました。  
 ご出席いただいた皆様ご協力ありがとうございました。また当日は、代議員以外の会員の皆様  
 にも多数ご参加いただき、積極的なご意見をいただきました。今後ますます会員の皆様のご意見  
 やご提案が会に反映されていくようつとめてまいります。引き続きご理解・ご協力を宜しくお願  
 いいたします。

**研修等・行事のお知らせ**

- 7月21日（土） 「地域で生きる」を支援する～無縁とたたかうソーシャルワーカー～
  - 7月28日（土） 基礎研修Ⅰ（集合研修Ⅰ）※申込は終了しております。
  - 7月～10月 平成24年度成年後見人養成研修 ※申込は終了しております。
- ※ その他研修等決定しましたらホームページに随時掲載致しますので、是非チェックしてください。  
 千葉県社会福祉士会ホームページ：http://www.cswchiba.com/

**会員の皆様へお願い**

姓、ご住所、お電話・FAX、勤務先が変更された場合は、日本社会福祉士会へ変更届の提出  
 が必要です。入会申し込みをした頃にご変更がある場合は、お早めにお手続きをお願いいたします。  
 提出先：社団法人 日本社会福祉士会 事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13カタオカビル2階  
 TEL 03-3355-6541 FAX 03-3355-6543

※ 変更届は日本社会福祉士会ホームページの会員専用ページ「事務諸手続きについてのご案内」からダウンロード出来  
 ます。お届けいただいた変更内容は月末にとりまとめ日本社会福祉士会から都道府県社会福祉士会へ連絡されます。

はじめまして！

**\*\* 新事務局員のご紹介 \*\***

この度、事務局に入りました正田知子と申します。特別支援学級での教師の経験や、学生時代からボランティア活  
 動に率先して参加してきました。アメリカではソーシャルワーカーは、社会的に高い評価を受けていると聞きます。  
 日本でも社会福祉士の認知度がさらに上がるように、そして、会員の皆さまの活動のお手伝いをさせて頂きたく頑張  
 って参ります。どうぞよろしくお願い致します。

**ようこそ！千葉県社会福祉士会へ**

氏名	居住地	勤務先	氏名	居住地	勤務先
清水 道德	船橋市	社会福祉法人高嶺福祉会	男庭 英恵	我孫子市	
高橋 静香	守谷市	柏市役所	二村 和宏	花見川区	
田辺 千鶴子	佐倉市		池亀 綾子	佐倉市	千葉県立四街道特別支援学校
實川 礼子	香取市		中山 太郎		木更津市南部地域包括支援センター

※ 正会員登録書「点と線掲載の可否」の項目で、可に○を頂いている方のみ掲載しております。（順不同・敬称省略）

**平成24年5月末現在の会員数**

**正会員 1,211名、 準会員 5名、 賛助会員 3名 合計 1,219名**